

第104回日本陸上競技選手権大会・長距離種目

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2020年度日本陸上競技連盟規則・競技会における広告及び展示物に関する規程、[WA規則第143条TR5：シューズに関するルール再改訂部分](#)及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 新型コロナウイルスの感染拡大防止について

- (1) 競技者・コーチ（AD申請者）は11月26日（木）～12月2日（水）の1週間分の体調管理を行い、テレサもしくは下記のグーグルフォームで12月2日（水）13時までに報告すること。
<https://forms.gle/hASScW1sCkZrgvBj9>
- (2) メイン競技場南側マラソングート、TIC付近で非接触での検温を実施する。選手及びコーチなどチーム関係者は[検温を受けてIDカードに検温確認シールを貼ること](#)。
- (3) 当日検温で37.5℃以上の場合、参加を認めない場合がある。大会3日前から当日の間に新型コロナウイルス感染の疑いの症状がある場合は参加を認めない。
- (4) 休憩待機所、練習場・招集等については競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (5) 飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
- (6) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（日本陸上競技連盟）に報告すること。

3 招集について

- (1) 招集所はメイン競技場南側マラソングート付近に設ける。
- (2) 招集時間は競技時刻20分前開始、10分前完了とする。
- (3) 招集の方法については、次の通りである。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・[競技用靴のスパイクピンおよび靴底の厚さ](#)・[競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類](#)の商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識（2枚）を受け取る。
 - ② 携帯電話等、競技規則第144条3（b）に関わる機器を持ち込んでないか確認を受ける。
 - ③ 代理人による最終点呼は認めない。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものと見なされ出場できない。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスはADカードと合わせ、エントリーシステムに登録した住所の[申込責任者宛にチーム分をまとめて](#)11月28日（土）までに郵送する。28日までに到着していない場合は本連盟事務局に連絡すること。
- (2) 各競技者、送付状況を確認の上、大会当日は忘れず持参すること。

5 競技場内への入場について

- (1) 出発待機所は招集所のあるマラソングートとする。
- (2) 競技者係の指示により、出発待機所からユニフォーム姿となり競技位置へ向かう。
- (3) 競技終了後は、競技役員の指示に従いPECR（ポスト・イベント・コントロール・ルーム）を通り

退場する。1～3位の競技者を、入賞者控室に誘導する。

6 男子 10000m の番組編成について

- (1) 男子 10000m は 2 組タイムレースで実施する。
- (2) A 組（競技日程確定後、競技順に応じて 1 組 2 組の順となる）
競技運営上、下記①～④の合計 32 名で競技を実施する。
32 名のうち 30 名は日本人競技者とする。オープンで出場を認められている外国人競技者は、2 名
のみに制限する。
 - ①第 103 回日本選手権男子 10000m 優勝者
 - ②第 103 回日本選手権クロカン男子 10km 優勝者
 - ③上記①,②を含む日本人競技者の資格記録上位 30 名
 - ④外国人競技者の資格記録上位 2 名
- (3) B 組
上記 A 組以外の競技者
- (4) その他
12 月 1 日(火)12 時 00 分までに、A 組に出場する日本人競技者から欠場届が提出された場合は、B
組にエントリーされた競技者で資格記録上位の競技者を A 組に繰り上げる。

7 欠場について

- (1) 欠場する者は、本選手権大会規定の「欠場届」（TIC にも用意）に必要事項を記入し、大阪陸上競技協会へ FAX で届けること。大会当日は TIC へ届けること。
- (2) 12 月 1 日(火)12 時以降に欠場届が提出された場合は DNS とする。
大阪陸上競技協会 FAX.06-6697-8766

8 競技用靴について（競技規則第 143 条 2.3.4.5.6 および WA 規則再改定を参照）

スパイクピンの長さは、9mm 以内。いずれの場合もスパイクピンの数は 11 本以内とする。
競技用靴についてはWAの新規定が適用される。靴底の厚さは、800m以上の種目は25mmまでとする。詳細については別紙記載する。

9 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は大型スクリーンおよびアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第 146 条に定められている時間内(同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後 15 分以内、それ以外は 30 分以内)に、競技者自身または代理人が、TIC を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1 万円)を添え、担当総務員を通じて Jury に文書で申し出る。

10 表彰について

- (1) 各種目の 1 位から 3 位までの競技者の表彰は、正面スタンド前の表彰台で行う。
- (2) 1 位の競技者には、カップと賞状とメダルを、2 位・3 位の競技者には賞状とメダルを授与する。
- (3) 賞状は後日郵送する。

11 ドーピングコントロールテストについて

- (1) ドーピングコントロール
ワールドアスレティックス アンチ・ドーピング規則及び規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規定に基づいて行われる。本大会の前もしくは後のドーピング検査で、尿又は血液（或は両方）の採

取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(2) TUE 申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例 (TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会ホームページ (<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>) 又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ (<http://www.playtruejapan.org/>) を確認すること。

(3) 18 歳未満の競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規定、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規定により、18 歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

- ① 本大会に参加する 18 歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は <http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf> からダウンロード出来る。
- ② 18 歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にて NFR (陸連医事代表) に提出すること。提出は、未成年時に 1 回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みであることを NFR に申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後 7 日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

14 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバック等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズ・個数を超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 「記録証明書」を希望する競技者は、TIC に 500 円を添えて申し込むこと。
- (5) 荒天により競技を一時中断もしくは延期することがある。
- (6) コーチ AD カードは下記枚数を申込責任者へ事前に送付する。
選手 1 名…2 枚 選手 2~3 名…3 枚 選手 4~5 名…4 枚 選手 6~9 名…5 枚
以後 5 名増えるごとに+1 枚

15 練習会場の使用について (練習会場注意事項)

- (1) 練習及び選手待機所はヤンマーフィールド長居 (補助競技場) を利用できる。
- (2) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は問わない。
- (3) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (4) 会場内への入退場は、必ず AD カードを明示する。また、コーチは会場において、常に AD カードが確認できるように携帯する。
- (5) ヤンマーフィールド長居 (補助競技場) の開放時間は下記の通りとする。
12 月 2 日 (水) 大会の公式練習日ではありません。この日は一般利用も不可です。
12 月 3 日 (木) 14:00 ~ 17:00 (17:00 までに退場してください)
12 月 4 日 (金) 12:00 ~ 19:45 (20 時までに完全退場)

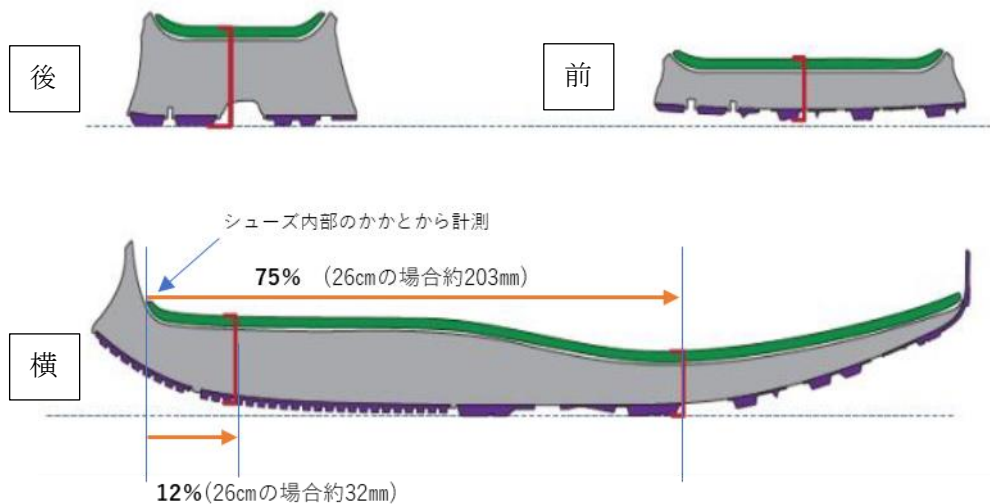
第104回日本陸上競技選手権大会・長距離種目 シューズの規定についての留意点

●日本陸上競技選手権大会の競技規則について

本大会は2020年ワールドアスレティックス競技規則及び日本陸上競技連盟競技規則により実施する。シューズ規定については2020年7月28日から有効となった以下のシューズ規程で実施する。

1) シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは下記の計測場所となる。

【靴底の計測場所】



※本競技会では、かかとから12%の部分を実測致します。

【靴底の厚さ】

種目	ソールの厚さ	補足
800m以上のトラック種目	25mm以内	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。競歩種目ではロード種目と同様とする。

※申込資格記録については、WA 規則適用外の記録も認めることとする。